

★ 基盤教育の理念と達成目標標準

基盤教育では、現代社会に必要なリテラシー、未知の事態に的確に対応できる幅広く深い教養と豊かな人間性、そして、知と行動力を統合し、あらたな知を創造できる人間としての基盤を育成することを理念とします。

基盤教育の概要と基盤教育プログラム・シラバス

基盤教育のカリキュラムは、大学教育全般への導入を目的とする初期導入科目、現代社会に必要なリテラシーを養うリテラシー科目、多様なものの見方を培うのに必要な幅広い基礎的知識を身につけると同時に、知と行動力を統合する能力を育成する教養科目、社会的・職業的自立に向け、必要な知識、技能、態度を育成する基盤キャリア教育科目、そして、専門教育へつながる基礎となる専門導入科目から構成されています。

宇都宮大学の基盤教育

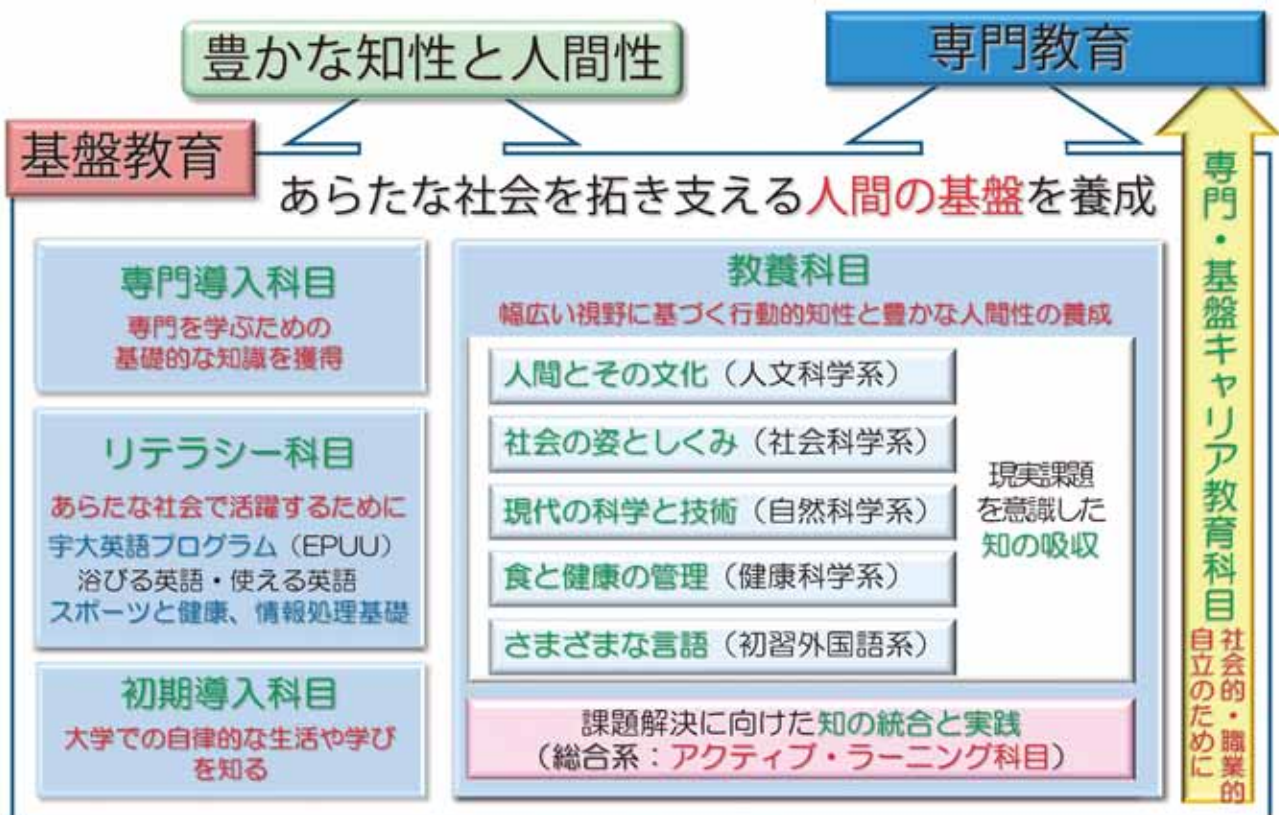


図1

卒業するために必要な基盤教育科目・単位数は、所属する学部・学科・課程・コースで定められています。

それぞれの科目についての概要、達成目標、カリキュラムの方針など詳細については、6ページ以降の基盤教育プログラム・シラバスを参照してください。

また、宇都宮大学では、基盤教育で皆さんが修得すべき達成目標標準を以下のように設定しています。

基盤教育の達成目標標準（スタンダード）

- ・大学での自律的な生活や学びを理解することができる
- ・現代社会を理解し、活躍する人のリテラシーを培うことができる
- ・「人間とその文化」、「社会の姿としくみ」、「現代の科学と技術」、「食と健康の管理」や「さまざまな言語」に関する基礎的知識や考え方を学ぶことから、幅広く深い教養と豊かな人間性を養うことができる
- ・“あらたな社会”を拓き支える知と行動力を統合する能力を培うことができる
- ・社会的・職業的自立に向け、必要な知識、技能、態度を養うことができる
- ・実践的で専門的な学修に有機的につながる基礎的な知識を修得することができる

